



第 313 号(令和5年(2023 年)9月8日)

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ
特別隊員

島崎 三步 の「山岳通信」

この通信は長野県の山岳地域で発生した遭難事例をお伝えし、「安全登山」のための情報提供をしています。(詳細は以下のとおり)

天気・防災情報 <https://www.jma-net.go.jp/nagano/>

信州 山のグレーディング <https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/sangyo/kanko/gure-dexingu.html>
を確認し万全の準備で入山を！

長野県警山岳安全対策課からのワンポイントアドバイス

8 月 5 週は、1 件の死亡遭難を含む 12 件の遭難が発生しました。夏山シーズン中は、昨年に続き 100 件を超える遭難が発生し、北アルプスでの遭難が多発しました。

9 月に入ってから、里山を中心に 6 件の遭難が発生しています。

5 週の遭難は、転倒による遭難が目立ちましたが、中には、道に迷い日没となって行動不能となった事例や、熱中症により行動不能となった遭難もありました。

四方原山(よもっぱらやま)での遭難は、当初は同じルートを往復する予定で入山したものの、登山道に土砂崩落等があったため、下りで同じルートを使うのは危険だと判断し、別のルートを使って下山を試みたところ道に迷ってしまったものです。当日は日没を迎えてしまったため、遭難はその場でビバークし、翌朝出動した救助隊員に無事救助されました。救助後、遭難者らから話を聞くと、「日帰り登山だからヘッドライトや雨具等を持参しなかった。」、「ビバーク中は夜露で身体が濡れて寒かった。」と話していました。

四方原山は、知名度は低い山ですが、登山口が数カ所あり、登山道は草や藪が生い茂っており、不明瞭となっています。必ずしも登山道に道標やピンクテープ等のマーキングがついているとは限りませんので、GPS や紙地図(登山地図アプリ)をこまめに活用して自分の現在地を把握しましょう。


また、日帰り登山であっても、万一来てて、ヘッドライト、雨具、ビバークセット(非常食・飲料、防寒着等)、ツェルト等を必ず携行しましょう。

県内はまだまだ暑い日が続いていますが、標高の高い山域では、秋山の装いに変わり始めています。日中は、気温が高い日もありますが、朝晩は冷え込みが厳しくなってきます。日没が早まり、日照時間も短くなります。例年、日帰り登山者がヘッドライトなどを所持しておらず、行動不能となる遭難が発生しています。

今週は、台風の影響により不安定な天候となる予報です。悪天候中の行動は、風雨にさらされ低体温、視界不良による行動不能など様々なリスクをもたらしますので、登山を計画されている方は、中止又は延期の判断をお願いします。

発生状況

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
8月28日	北アルプス 鹿島槍ヶ岳	女	60	負傷	滑落	2人パーティで五竜岳方面に向けて縦走中、バランスを崩し滑落、負傷
<p>27日から、2人パーティで柏原新道登山口から入山した女性(60歳)が、28日、鹿島槍ヶ岳を經由して五竜岳方面に縦走中、バランスを崩し滑落して負傷する山岳遭難が発生し、県警ヘリが出動して救助しました。</p>						
8月28日	北アルプス 餓鬼岳	女	47	負傷	滑落	4人パーティで山頂から白沢側登山口に向けて下山中、スリップし滑落、負傷
<p>27日から、4人パーティで餓鬼岳に入山した女性(47歳)が、28日、山頂から白沢側登山口に向けて下山中にスリップし滑落して負傷する山岳遭難が発生し、大町警察署山岳遭難救助隊員及び北アルプス広域消防本部消防署員が出動して、県消防防災ヘリで救助しました。</p>						
8月29日	北アルプス 天狗沢	男	36	無事救出	道迷い	単独 で天狗の科尔に向けて登山中、道に迷い行動不能
<p>28日から、単独で上高地から入山した男性(36歳)が、29日、岳沢から天狗の科尔へ向けて天狗沢を登山中、道に迷って行動不能となる山岳遭難が発生し、県警ヘリが出動して救助しました。</p>						
8月29日	ハヶ岳連峰 赤岳	男	84	死亡	滑落	単独 で赤岳付近を登山中、何らかの原因により滑落
<p>29日、ハヶ岳連峰赤岳付近の登山道上で、何らかの原因により登山中に滑落した男性(84歳)登山者が倒れているのを他の登山者が発見し、30日、茅野警察署山岳遭難救助隊員及び県警ヘリが出動して救助しましたが、死亡が確認されました。</p>						
8月29日	御嶽山	女	42	負傷	滑落	2人パーティで山頂から三ノ池に向けて下山中、滑落、負傷
<p>29日、2人パーティで御嶽山に入山した女性(42歳)が、山頂から三ノ池方向へ下山中、登山道から外れて滑落して負傷する山岳遭難が発生し、県消防防災ヘリが出動して救助しました。</p>						

8月29日	北アルプス 北穂高岳	男	54	無事救出	その他	単独で涸沢に向けて下山中、日没及び技量不足により行動不能
28日から、単独で上高地から北アルプスに入山した男性(54歳)が、29日、北穂高岳から涸沢にむけて下山中、日没及び技量不足により行動不能となる山岳遭難が発生し、北アルプス南部地区山岳遭難防止対策協会救助隊員及び松本警察署山岳遭難救助隊員が出動して救助しました。						
9月1日	ハケ岳連峰 硫黄岳	女	61	負傷	転倒	2人パーティで根石岳から下山中、転倒、負傷
31日から2人パーティで入山した女性(61歳)が、1日、根石岳から下山後、硫黄岳付近の山小屋で転倒して負傷し、行動不能となる山岳遭難が発生し、諏訪地区山岳遭難防止対策協会救助隊員、諏訪広域消防特別救助隊員及び茅野警察署山岳遭難救助隊員が出動して救助しました。						
9月2日	北アルプス 常念岳	女	59	負傷	転倒	6人パーティで一ノ沢から常念岳に向けて登山中、スリップし、転倒、負傷
2日、6人パーティで一ノ沢登山口から入山した女性(59歳)が、常念岳頂上に向けて登頂中にスリップし足を滑らせ転倒・負傷する山岳遭難が発生し、警察本部山岳安全対策課救助係隊員及び北アルプス南部地区山岳遭難防止対策協会救助隊員が出動して救助しました。						
9月2日	四方原山	男	72	無事救出	道迷い	4人パーティで山頂から下山中、道に迷い行動不能
		女	66	無事救出	道迷い	
		男	82	無事救出	道迷い	
		女	79	無事救出	道迷い	
2日、4人パーティで南佐久郡の四方原山に入山した男性2名(72歳、82歳)、女性2名(66歳、79歳)が、道に迷い行動不能となる山岳遭難が発生し、3日、警察本部山岳遭難救助隊員が出動して救助しました。						
9月3日	烏帽子岳	男	61	負傷	転倒	単独で山頂から下山中、転倒、負傷
3日、単独で烏帽子岳に登山中の男性(61歳)が、山頂付近において下山中転倒し、足首を負傷する山岳遭難が発生し、県警ヘリが出動して救助しました。						
9月3日	入笠山	男	70	負傷		
3日、単独で入笠山に入山した男性(70歳)が、山頂から下山中に登山道で転倒し足を捻り負傷する山岳遭難が発生し、諏訪広域消防本部消防署員が出動して救助しました。						
9月3日	南沢山	女	51	無事救出	疲労	2人パーティで山頂に向けて登山中、疲労により行動不能

3日、2人パーティで下伊那郡の南沢山登山口から入山した女性(51歳)が、登山中、疲労による体調不良で行動不能となる山岳遭難が発生し、飯田広域消防本部消防署員が出動して救助しました。

令和5年(2023年)中の山岳遭難発生状況(令和5年(2023年)1月1日～9月3日)

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内)死傷者
令和5年(2023年)	203	24	3	111	89	227	138
内)単独登山	71	11	0	34	26	71	45
令和4年(2022年)	193	22	2	93	97	214	117
前年同期比	+10	+2	+1	+18	-8	+13	+21
内)単独登山	+11	+1	-1	+12	-1	+11	+12

■山域別発生状況(令和5年(2023年)1月1日～9月3日)

区分	件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
北アルプス	槍穂高	40	19.7%	10	0	17	44
	後立山	46	22.7%	3	2	32	51
	その他	21	10.3%	2	0	9	23
	計	107	52.7%	15	2	58	118
中央アルプス	12	5.9%	0	0	10	5	15
南アルプス	3	1.5%	1	0	0	3	4
八ヶ岳連峰	37	18.2%	3	0	18	20	41
その他の山岳	44	21.7%	5	1	25	18	49
計	203		24	3	111	89	227

■態様別発生状況(令和5年(2023年)1月1日～9月3日)

区分	件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	57	28.1%	14	0	45	0	59
転倒	52	25.6%	0	0	52	0	52
病気	14	6.9%	2	0	0	12	14
道迷い	19	9.4%	0	0	0	25	25
落石	6	3.0%	1	0	5	0	6
雪崩	3	1.5%	3	0	2	1	6
落雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	28	13.8%	1	0	0	33	34
不明・他	24	11.8%	3	3	7	18	31
計	203		24	3	111	89	227

■男女別・年齢別比率(令和5年(2023年)1月1日～9月3日)

区分	男性					(人) 比率	女性					(人) 比率	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計		死者	不明	負傷	無事	計		人数	比率
19歳以下	0	0	1	5	6	41 26.5%	0	0	0	3	3	13 18.1%	9	54 23.8%
20代	0	0	6	9	15		0	0	3	2	5		20	
30代	3	2	10	5	20		1	0	0	4	5		25	
40代	4	0	10	9	23	51 32.9%	0	0	6	5	11	30 41.7%	34	81 35.7%
50代	5	0	16	7	28		3	0	10	6	19		47	
60代	2	0	21	12	35	63 40.6%	1	0	10	7	18	29 40.3%	53	92 40.5%
70以上	5	1	11	11	28		0	0	7	4	11		39	
計	19	3	75	58	155		5	0	36	31	72		227	
比率	68.3%						31.7%							

内容は長野県警察本部の発表時点のものです。

* 本通信に関するご質問・ご意見は「長野県観光部山岳高原観光課」mt-tourism@pref.nagano.lg.jp
までお寄せください。

夏山期間中の山岳遭難発生状況

長野県警 山岳安全対策課

夏山期間中(7月1日～8月31日)の山岳遭難発生状況

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内)死傷者
本年	101	10	0	59	32	101	69
前年	100	6	1	51	52	110	58
前年比	+1	+4	-1	+8	-20	-9	+11

遭難の特徴

- (1)態様別 転倒が約3割で最多 次いで滑落と疲労がそれぞれ約2割、病気が約1割
- (2)山域別 北アルプスが約7割、八ヶ岳が約1割
- (3)年齢別 40歳以上の中高年の遭難が約9割(うち60歳以上の高年齢層は約5割)
- (4)居住地別 関東及び関西の都市部の都府県在住者が多数を占めた

主な遭難事例

(1)穂高連峰における死亡相談の多発

前穂高岳2件、奥穂高岳1件、西穂高岳3件、計6件の滑落等による死亡遭難が発生

(2)白馬岳における転倒及び疲労による遭難の多発

白馬大雪渓ルートで転倒6件、疲労4件を含む12件の遭難が発生

(3)御嶽山における遭難の多発

立入規制が解除された御嶽山で、転倒による重傷遭難が4件発生

救助活動等

- (1)101件の遭難のうち、県警へりは47件に出動し、40人救助、7遺体収容
- (2)救助活動には、警察官356人を含む665人が従事(人数はいずれも延べ人数)

■山岳遭難発生状況(暫定値) (令和5年(2023年)7月1日～8月31日)

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内)死傷者
令和5年(2023年)	101	10	0	59	32	101	69
令和4年(2022年)	100	6	1	51	52	110	58
前年同期比	+1	+4	-1	+8	-20	-9	+11

■山域別発生状況(令和5年(2023年)7月1日～8月31日)

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	
北アルプス	槍穂高	27	26.7%	6	0	12	9	27
	後立山	31	30.7%	0	0	20	11	31
	その他	11	10.9%	1	0	6	4	11
	計	69	68.3%	7	0	38	24	69
中央アルプス	6	5.9%	0	0	5	1	6	
南アルプス	1	1.0%	0	0	0	1	1	
八ヶ岳連峰	11	10.9%	1	0	5	5	11	
その他の山岳	14	13.9%	2	0	11	1	14	
計	101		10	0	59	32	101	

■態様別発生状況(令和5年(2023年)7月1日～8月31日)

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	22	21.8%	8	0	14	0	22
転倒	35	34.7%	0	0	35	0	35
病気	9	8.9%	1	0	0	8	9
道迷い	3	3.0%	0	0	0	3	3
落石	4	4.0%	0	0	4	0	4
雪崩	0	0.0%	0	0	0	0	0
落雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	19	18.8%	0	0	0	19	19
不明・他	9	8.9%	1	0	6	2	9
計	101		10	0	59	32	101

■男女別・年齢別比率(令和5年(2023年)7月1日～8月31日)

区分	男性					(人)	女性					(人)	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計	比率	死者	不明	負傷	無事	計	比率	人数	比率
19歳以下	0	0	1	3	4	10 15.4%	0	0	0	1	1	2 5.6%	5	12 11.9%
20代	0	0	1	1	2		0	0	0	0	0		2	
30代	0	0	3	1	4		0	0	0	1	1		5	
40代	1	0	6	1	8	23 35.4%	0	0	3	0	3	14 38.9%	11	37 36.6%
50代	2	0	9	4	15		3	0	5	3	11		26	
60代	1	0	12	5	18	32 49.2%	1	0	8	5	14	20 55.6%	32	52 51.5%
70以上	2	0	7	5	14		0	0	4	2	6		20	
計	6	0	39	20	65		4	0	20	12	36		101	
比率	64.4%						35.6%							